

WITH YOU

保険情報ペーパー「ウィズ・ユー」

2060年の総人口8,674万人、65歳以上が39.9%占める

50年後の日本 5人に2人が高齢者

「人生90年」時代が到来
非婚化・晩婚化も進む

日本の将来推計人口(2012年1月推計)
国立社会保障・人口問題研究所

日本は世界に例を見ない超高齢社会に向かっていっているといわれています。厚生労働省の国立社会保障・人口問題研究所が公表した、新たな「日本の将来推計人口」(2012年1月推計)によると、50年後の日本は「5人に2人が高齢者」になると予測しています。2010年に1億2,806万人だった総人口は、長期の減少過程に入り、2048年には1億人を割り込み、2060年までの50年間で4,132万人(32.3%)減少して8,674万人になると推計しています。

2010年から2060年にかけて、14歳以下の年少人口は1,684万人から791万人へと893万人(53.0%)減るのに対し、65歳以上の老年人口は2,948万人から3,464万人へと516万人(17.5%)増加し、少子高齢化が急速に進みます。総人口に占める65歳以上の割合(高齢化率)は23.0%から一貫して上昇し、50年後には39.9%に達する見込みです。平均寿命はさらに延び、2010年時点では男性79.64歳、女性86.39歳ですが、2060年には男性84.19歳、女性90.93歳となり、「人生90年」時代が到来し、「100歳超え」も珍しいことではなくなりそうです。

働き手の減少も深刻で、2010年に8,173万人いた15~64歳の生産年齢人口は、50年後には4,418万人とほぼ半減し、総人口に占める割合は50.9%

	総人口	年少人口 [0~14歳]	生産年齢人口 [15~64歳]	老年人口 [65歳以上]
2010年	1億2,806万人	1,684万人 (13.1%)	8,173万人 (63.8%)	2,948万人 (23.0%)
2030年	1億1,662万人	1,204万人 (10.3%)	6,773万人 (58.1%)	3,685万人 (31.6%)
2060年	8,674万人	791万人 (9.1%)	4,418万人 (50.9%)	3,464万人 (39.9%)

から50.9%に低下します。現在の社会は現役世代3人が高齢者1人を支える構図ですが、50年後は現役世代1人で高齢者1人を支える社会になり、年金や介護、医療などの社会保障制度をどのように維持していくのが今後の大きな課題になってきます。

一方、1人の女性が一生のうちに出産する人数の指標となる合計特殊出生率は、前回、6年前の推計よりわずかに改善したものの2060年時点でも「1.35」と低水準にとどまっています。さらに、非婚化や晩婚化が一段と進むことになりそうです。1960年生まれの世代の生涯未婚率は9.4%ですが、1995年生まれの世代では2倍に増え20.1%、平均初婚年齢も1960年生まれの25.7歳から28.2歳(1995年生まれ)に上昇すると予測しています。

2012年4月作成



フォーユーシステム株式会社

〒989-6135 宮城県大崎市古川稲葉字浦田32-1
古川の通報は大場いい 通話いや
TEL 0229-24-0855 FAX 0229-24-0855
<http://www.foryousystem.co.jp>